



日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

2024年度 秋季大会

2024年10月26日(土)・27日(日) オンライン開催

10月26日(土)

口頭発表		A会場 (Zoom1)		B会場 (Zoom2)	
セッション1	司会(補助)	鴻野 知暁 (佐伯 暁子)		太田 陽子 (苅宿 紀子)	
	ホスト	小川 晋史		幸松 英恵	
	10:00 10:40	A-1	『文集抄』鈔本二種の漢字音について - 『白氏文集』加點本諸本との比較を通じて-	B-1	(なし)
			鄭 門鎬		
10:50 11:30	A-2	『古今集遠鏡』における推定の助動詞の 訳出方針	B-2	日本語における「無」ではじまる語の 特殊な意味についての研究	
		久保 亜子		TRAN QUOC HIEP	
11:40 12:20	A-3	奈良時代から平安時代前半期の 資料における「すなはち」と「即・則・便」	B-3	「ダイエット」・「ダイエッター」の 和製の意味用法の変遷	
		柳原 恵津子		呉 文傑	
休憩 (50分)					
セッション2	司会(補助)	坂井 美日 (久保 蘭 愛)		幸松 英恵 (小川 晋史)	
	ホスト	佐伯 暁子		鴻野 知暁	
	13:10 13:50	A-4	古文書における「候」字形の変化	B-4	無標実現と有標実現の使い分けについて - 意志と潜在意図 -
			山本 久		王 イリン
14:00 14:40	A-5	呉語系中国資料にみる日本語のモーラについて - 陰声韻と入声韻の転換に着目して -	B-5	テシマツタの意味に関する一考察	
		王 竣磊		三好 優花	
休憩 (20分)					
セッション3	司会(補助)	中川 奈津子 (坂井 美日)		苅宿 紀子 (太田 陽子)	
	ホスト	久保 蘭 愛		堤 良一	
	15:00 15:40	A-6	勧誘文の類型化をめぐる - 「さあ」「ねえ」との共起を中心に -	B-6	陳述副詞における陳述的意味発生の類型性 - 漢語副詞を中心に -
			邢 立中		姚 堯
15:50 16:30	A-7	滋賀県における 若年層の素材待遇語の使用実態 - 第三者待遇偏用から「関係者待遇」へ -	B-7	四コマ漫画における連点の表現機能	
		坪井 菜央		高橋 愛子	
休憩 (10分)					
大会式典会場 (ovice)					
司会	高木 千恵				
ホスト(補助)	田村 早苗 (矢田 勉)				
16:40 17:00	大会式典		会長挨拶 日本語学会会長 木部 暢子 学会賞授賞式		
談話室	10:00-17:00 オンライン談話室 (ovice)		会場担当: 宮澤 太聡, 森 勇太		
懇親会	17:10-18:40 オンライン懇親会 (ovice)		司会: 庵 功雄 会場担当: 宮澤 太聡, 森 勇太		

10月27日(日)

ワークショップ		A会場 (Zoom1)	
セッション4	ホスト(補助)	田村 早苗 (矢田 勉)	
	9:30 11:00	<p>ワークショップ 帝国議会議事速記録のコーパス構築に向けた翻刻・文字起こし支援システムの開発</p> <p>発表者 伊藤 孝行, 山下 倫央, 横山 想一郎, 川村 秀憲, 北野 勇太, 平間 友大, 小木曾 智信</p>	
休憩		(20分)	
ポスター発表 (ovice)			
セッション5	会場担当	苅宿 紀子 (全体) 久保蘭 愛 (P-1), 鴻野 知暁 (P-2), 太田 陽子 (P-3), 小川 晋史 (P-4), 堤 良一 (P-5)	
	11:20 12:20	P-1	単語ベクトルを用いた『天草版平家物語』と原拠本『平家物語』の対応付け 北崎 勇帆
		P-2	現代語書き言葉コーパスと著作権処理-BCCWJ2の構築に向けて- 小木曾 智信, 山崎 誠
		P-3	統合型日本語語彙データベースJ-CLIDの開発と展望 呂 建輝, 片山 鮎子
		P-4	慣習から逸脱した表記に見る文字の修辭的機能-現代短歌を資料として- 権田 彩良
		P-5	実例から見られる代行指示の「その」の四つの特殊タイプについて 鞠 恩彤
フリータイム	(15分)		
学生セッション (ovice)			
セッション5	会場担当	宮澤 太聡 (全体) 久保蘭 愛 (G-1), 幸松 英恵 (G-2), 佐伯 暁子 (G-3), 堤 良一 (G-4)	
	12:35 13:35	G-1	仙台市方言における形容詞の無活用化の実態 中川 葉月
		G-2	首都圏在住女子大学生における援助行動表現のスタイル・シフティングークラスタ分析を用いて- 杉原 奏音, 橋本 優美, 小林 星蘭, 中尾 真子
		G-3	タリ形・タ形が用いられる連体節とその参照節の時間的關係 末吉 勇貴
		G-4	X(旧Twitter)にみられる顔文字・絵文字が表す感情類型と回答者の類型化パターン-多変量解析による分析をとおして- 村瀬 瑠々, 丸山 花, 吉川 心遥, 山下 ゆき, 畠澤 百恵, 菅沼 美音, 吉川 春菜, 大池 美心, 秋元 叶夢, 山岸 優空, 佐々木 穂乃花, 勝呂 友耀, 齋藤 恵
フリータイム	(15分)		
休憩		(10分)	
シンポジウム会場 (Zoom)			
セッション6	司会	中川 奈津子	
	ホスト(補助)	田村 早苗 (坂井 美日)	
	14:00 17:00	<p>シンポジウム 多文化社会のための複言語教育：ことばの研究の社会的役割とは</p> <p>言語から話者へ：複言語教育の射程 パネリスト 大山 万容 (大阪公立大学) 日本の国内の消滅危機言語の再活性化の事例より パネリスト 半嶺 まどか (名桜大学) 異言語脱出ゲームの取り組み パネリスト 菊永 ふみ (一般社団法人異言語Lab.)</p> <p>企画担当 中川 奈津子 (九州大学) 坂井 美日 (鹿児島大学)</p>	
談話室	9:30-17:00 オンライン談話室 (ovice) 会場担当：宮澤 太聡, 森 勇太		
書籍展示ブース	11:00-14:00 オンライン書籍展示 (ovice：オンライン談話室内)		

〔オンライン大会スタッフ〕大会企画運営委員会 高木千恵(委員長) 庵功雄(副委員長) 矢田勉(副委員長) 田村早苗(オンライン大会委員長)
 池上尚 太田陽子 小川晋史 苅宿紀子 久保蘭愛 鴻野知暁 佐伯暁子 坂井美日 堤良一 中川奈津子 幸松英恵
 宮澤太聡(委員長補佐) 森勇太(委員長補佐) 事務局委員会 川瀬卓 富岡宏太 野間純平 広報委員会 市村太郎 村山実和子